

水源林出張教室を開催

(日本大学生物資源学科)

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター

森林整備センターは、令和元年10月15日(火)に日本大学生物資源学部(神奈川県藤沢市)において、「水源林出張教室」を開催しました。

出張教室は、森林整備の重要性や水源林造成事業への理解を深める機会を提供するために実施するもので、同学部井上公基教授森林利用学講義の一環として、120名の学生を対象に行いました。

冒頭、井上教授から講義の趣旨及び日本の林政における森林整備の歴史などについて講義があり、引き続き、当センター職員から、森林整備センターの組織・水源林造成事業の概要、業務内容等について説明しました。



講義の様子(井上教授)



学生からは、「台風19号がもたらした甚大な被害と森林整備の関係に高い関心があり、センターが実施している水源林造成事業が国土保全の重要な一翼を担っていることや、年間8千4百億円に及ぶ公益的機能効果について理解を深めることができた。」などの感想がありました。

このほか、公益的機能を持続的に発揮させるため樹齢や高さの違う木によって構成された育成複層林や森林整備に必要な作業道、当機構研究部門との連携した取組などについて関心が寄せられました。

森林整備センターは、今後もこのような取組を通じて、学生や都市住民の皆様にも、水源林造成事業の意義や森林整備の重要性について、理解を深めて頂けるように努めてまいります。